

鳶ヶ巣大崩壊地／鳶ヶ巣大崩壊地のビューポイント

大規模な山腹崩壊地

大鹿村の上蔵地区から見える、面積が30haにも及ぶ大崩壊地。
 明治以前から崩壊が続いており、土砂が小渋川をせき止め、たびたび災害を引き起こした。
 押し出された土砂が小渋川に削られ、何層にもなった礫層が川沿いに見られる。
 大鹿村上蔵の福徳寺(国重要文化財)付近から崩壊地が望め、案内看板もある。



福徳寺前から見える
鳶ヶ巣大崩壊地



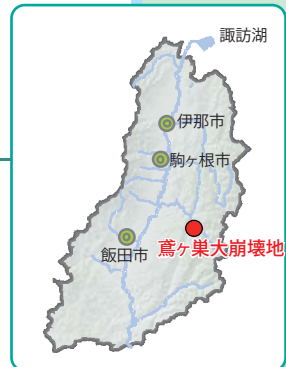
information

□ アクセス

(福徳寺)
 松川川から25km
 車→50分

□ 所在地

大鹿村大河原



福徳寺から車で数分山道を上ると、正面に鳶ヶ巣大崩壊地を見ることができる



赤ナギ

復旧工事

谷底からざっくりと山肌がえぐり取られ、下方末端は一直線に本流に達し、斜面は40度を超す。

崩壊地は蛇紋岩の崩れで、風化した赤い色を見ていた昔の人は「赤ナギ」と呼んでいた。

事業開始当初は、崩壊による土砂止めなどの山腹工を試行したが、傾斜が急で乾燥した土壌のため、森林復旧は進まなかった。

現在は、表土に資材を吹き付ける工法などの新緑化技術を取り入れて復旧成果をあげている。



(国土地理院の数値地図25000(地図画像)を使用)